

# 密度検層の目的と概要

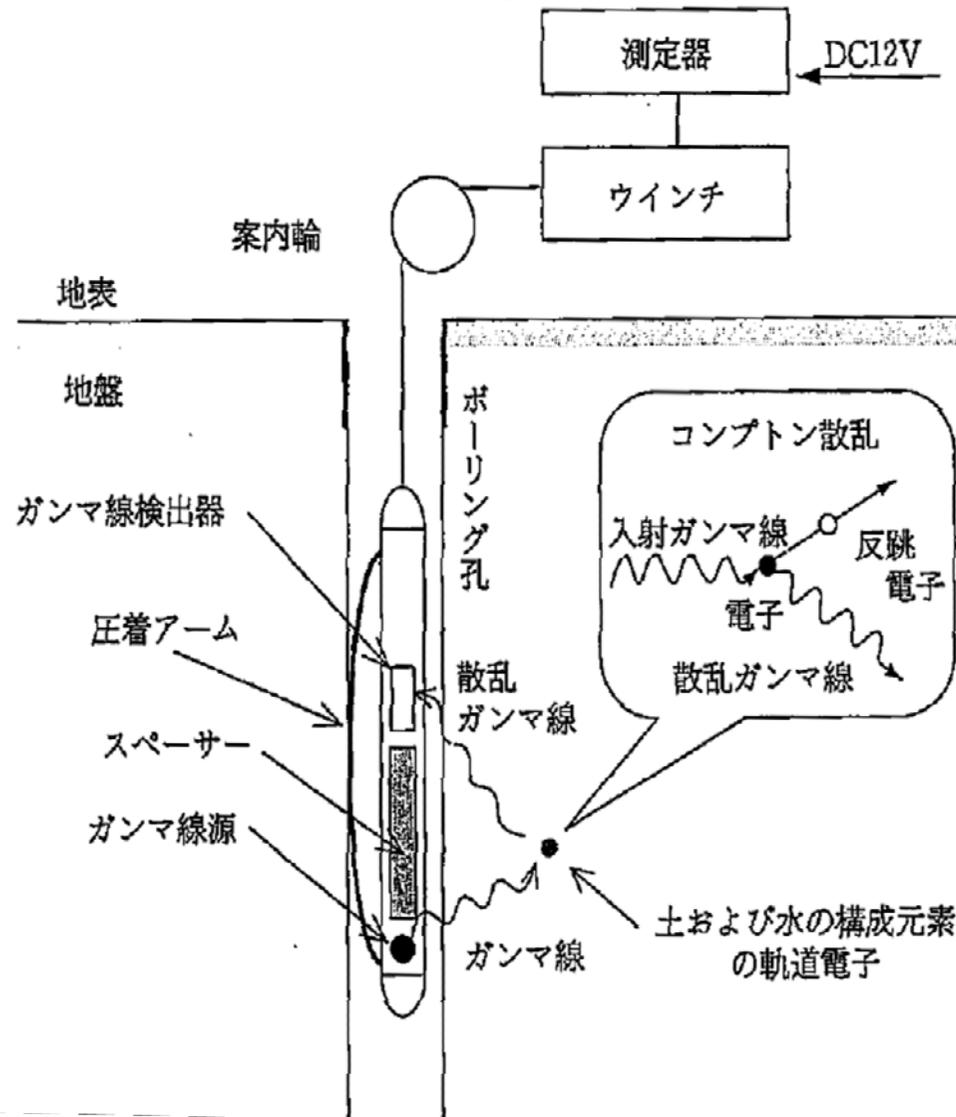
## 目的

- 地山密度の把握

## 概要

- ガンマ線の散乱強度が物質の密度と関係があることを利用するもの。人口ガンマ線の放射線源を装着したプローブを孔内に挿入し、放射能を測定する

# 密度検層のイメージ



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用

# 密度検層 実施上の留意点

## 孔内状況の把握

- ロッドを孔底まで降下させ十分に泥水循環
- 孔内のスライムの除去、押出し箇所の確認

## ケーシングの挿入

- 孔壁崩壊が懸念される場合に挿入

## プローブの気密性

- ネジの締め付けを確実に。Oリング部分にはシリコングリスを塗布

## 線源の保安

- 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」等の関係法令遵守
- 線源の取扱いは短時間で行う。
- 線源をできるだけ遠ざける
- 使用が終了した線源は速やかに廃棄

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成